

植村甲午郎 官僚・財界人。太平洋戦争の前後にわたって、経済界の調整にあたった。
うえむらこうごろう
日清戦争始・1894 = 東京生れ。

日比谷公園・1903 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 11歳：

明治天皇没・1912 = 18歳：

東大を卒業し、

本格政党内閣1918 = 24歳：農商務省に入る。

1年志願兵として入営後、同省工場監督官から、

原敬首相暗殺1921 = 27歳：

大臣秘書官となり、5人の大臣につかえた。

治安維持法・1925 = 31歳：ヨーロッパの基幹産業を調査、
帰国後、

金融恐慌・1927 = 33歳：内閣に新設された資源局の調査課長となり、重要資源の調査・整理・編成にあたる。

海軍軍縮条約1930 = 36歳：

満州事変・1931 = 37歳：

日中戦争始・1937 = 43歳：*資源局企画院調査部長となり、その後、産業部長、第4部長を歴任して、日中戦争下の生産力拡充計画の立案にあたる。

第二次大戦始1939 = 45歳：

大政翼賛会・1940 = 46歳：企画院次長となり、退官。外務省の通商顧問として、ドイツ・イタリアの統制経済の実情を視察し、

日米開戦・1941 = 47歳：帰国後、石炭統制会理事長に就任。

敗戦・・・1945 = 51歳：*終戦処理の日本経済連盟会常務理事となり、その解散、全国経営者団体連絡協議会(経団連)創立に参画。

新憲法施行・1947 = 53歳：公職追放となったが、

極東裁判決・1948 = 54歳：

独立回復・1951 = 57歳：*解除後、経団連の相談役、ついで副会長に就任。

なべ底不況・1957 = 63歳：

安保闘争・1960 = 66歳：

タイタイ病始・1961 = 67歳：ニッポン放送会長、

TV宇宙中継始1963 = 69歳：日本航空会長などを歴任し、

日韓経済協力会会長もつとめた。

いざなぎ景気1966 = 72歳：

霞ヶ関ビル・1968 = 74歳：*経団連会長に就任。

石油ショック1973 = 79歳：

角栄金脈辞任1974 = 80歳：*退任し、

ケアンズ事件1975 = 81歳：

成田衝突・1978 = 84歳：*没した。